

中村哲さんの功績たどる

アフガンで共に活動・橋本さん 仙台で講演



アフガニスタンで復興事業に取り組み、2019年に銃撃されて亡くなった医師中村哲さん(当時73)の功績を振り返る講演が仙台市青葉区のハーネル仙台

であり、現地で共に活動した宮城県大河原町の団体職員橋本康範さん(48)が当時の様子を説明した。橋本さんは現地ワーカーとして、02〜05年に中村さ

㊦中村さんの活動を振り返った講演 ㊧講演する橋本さん



講演は、農業土木関連企業や大学関係者らでつくる仙台市のNPO法人「あぐ

んが代表だった非政府組織(NGO)「ベシヤワール会」に参加し、用水路の整備事業などを手伝った。橋本さんは「用水路が通水し、周辺の乾いた土地にみるみる作物が育つ様子を見て、まさに『命の水』の尊さを実感した」と回顧。中村さんがよく口にしていた「大切な人と食事を共にし、自然と和解することが幸せにつながる」などの言葉を紹介した。

「あぐん」が代表だった非政府組織(NGO)「ベシヤワール会」に参加し、用水路の整備事業などを手伝った。橋本さんは「用水路が通水し、周辺の乾いた土地にみるみる作物が育つ様子を見て、まさに『命の水』の尊さを実感した」と回顧。中村さんがよく口にしていた「大切な人と食事を共にし、自然と和解することが幸せにつながる」などの言葉を紹介した。

りねつと21」が企画。ロシアのウクライナ侵攻で穀物の世界的な供給不足が懸念される中、土地改良の原点を考えようと5月28日に開催し、約50人が集まった。